

シノデンタル 2013 報告書

日時:2013年6月9日(日)~12日(水)

場所:北京国家会議中心 CNCC 北京市朝陽区北辰東路7号

主催:中国国家衛生計画生育委員会国際交流センター

後援:中国国家衛生計画生育委員会、中華口腔医学会、北京大学口腔医学院

展示会出展日本企業:サンメディカル株式会社、株式会社ニッシン、株式会社モリタ、株式会社ジーシー、株式会社 NSK、クラレ/リタケデンタル株式会社、株式会社松風、マニー株式会社、株式会社トミーインターナショナル、株式会社吉田製作所、株式会社タカラベルモント、株式会社ミクロン、中村デンタル株式会社、株式会社シオダ、京セラメディカル株式会社、朝日レントゲン工業株式会社

高卫中主任と江藤理事長との会談:6月11日展示会会場VIPルーム(カッコ内は高主任の発言)
展示会場での日本ブースの場所について、入口真正面の好適な場所の割り当てに対する謝辞(日本との重要な関係においてブースの場所を決めたのは当然のことである。)

現状展示会内での規模はドイツに次いで2位。ドイツ政府のバックアップと比較し、日本政府への支援の要請を検討(ドイツとは展示会について、科学省の主任と会談を持った。産・官・学・民間がしっかりと統合されているようであった。)

ドイツは「科学館」として一角をドイツ歯科医療の紹介スペースとしていたが、日本はもう少し統一感を持たせ、オールジャパンでアピールするようにしたい。今年のJDTAの一角を来年は日本歯科医療紹介スペースにすることを検討(来年の提案として、ドイツDayやジャパンDayとは別に、国際セミナーを開催して欲しい。中国企業に“学”(研究)をどうやって“産”(ビジネス)にしていくかという成功モデルを示して欲しい。限られた人(政府としては衛生部の要人はもちろん、商務部、工業情報部、科学技術部対象。中国アカデミー、北京近郊の名門大学、研究者、エンジニア、大手歯科企業なども対象)に絞り、ハイレベルなセミナーとして欲しい。企画は中国が大枠のシナリオを決め、ドイツ、日本へ依頼をする。日程は9日の午後が良い。)

上海、広州でも歯科の展示会が開催されるが、北京の企画がモデルとなる(ハイレベルなセミナーとは別に、一般の来場者について、各ブースでパネルやビデオ、簡単な実習などの見せ場を作り、魅力的な展示会として欲しい。)

昨年首都医科大学歯科臨床研修では、政治的に困難な中でも医療交流は変わらず続けていくことが重要であることと、留日の歯科医のはたす役割がきわめて重要であることを強調(商業については第二の目的で、まず友好の気持ちを共有する良い機会になった。)

Japan Day 「日本先進歯科臨床講座」

北京国家会議中心 CNCC Room: 307AB(定員200名), 308(定員200名)

主催:日本歯科商工協会、一般社団法人アジアデンタルフォーラム

後援: 在中国日本大使館、中国国家衛生計画生育委員会国際交流センター

<307AB>進行役: 岡野友宏

10:00-10:30 江藤一洋 (ADF 理事長) 『ADF 基調講演』

10:30-12:00 加來慶久 (加來デンタルオフィス院長)

『コンポジットレジンによる日常診療に役立つ修復治療法』 <(株)ジーシー>

13:00-14:30 山田和伸 (歯科技研株式会社社長)

『審美的基準を考慮したオールセラミックスレストレーション』 <クラレノリタケデンタル(株)>

14:30-16:00 趙 奇 (北京大学口腔医学院問診部口腔内科主任医師)

『保存料: マニー製品の特性及び優位性』 <マニー(株)>

16:00-17:30 王曉燕 (北京大学口腔医学院保存系主任医師・副教授)

『顕微鏡技術と MiCD』 <(株)松風>

<306B>進行役: 河原陽子

10:30-12:00 趙 弘 (大阪歯科大学歯学博士)

『Proprioceptive Derivation & Wire Bending』 <(株)トミーインターナショナル>

13:00-14:30 姚紹起 (上海精瓷義歯株式会社本部長)

『ジルコニアでの審美補綴において歯科医と技工士のコミュニケーション』 <(株)ニッシン>

14:30-16:00 楊 亜東 (北京大学口腔医学院補綴科主任医師・准教授)

『接着ブリッジ成否のポイント—その設計と操作—』 <サンメディカル(株)>

16:00-17:30 松田 庸 ((株)吉田製作所レーザー事業部次長)

『新たな可能性を秘めた炭酸ガスレーザーの応用』 <(株)吉田製作所>

<シノデンタル 2013 写真>



シノデンタル 2013 開会式(雨天の為会場内で)



衛生部国際交流センター 高卫中主任



会場入口入ってすぐの(株)モリタブース：
診察台に寝ているのはまるで人間のような実習用ロボット



(株)ジシーブース：実演コーナーは人だかり



日本ブース上部には垂れ幕



垂れ幕はかなり上で視界に入りにくい



韓国ブースはパープルの統一感



ドイツのイベントブース「科学実験館」内部

＜ジャパンセミナー写真＞



江藤理事長の基調講演



重要なスライドには一斉に携帯電話が向けられる



会場に入りきれない来場者がドア付近にあふれる



大連医科大学の朱先生と